

全国の避難者の皆さまへ

原発事故が始まって4年8か月が過ぎました。

原発事故も、被災者の苦しみも、まだまだ続いています。事故も被災者も見えない存在にさせられていこうとしています。

私たちは、「避難の権利」が保障される社会を求めて、全国避難者会を設立しました。

原発事故の影響で避難をした人、避難の人も、「自主」避難の人も、福島だけでなく東日本各地からの避難者も、そして避難後に帰還された方も、様々な垣根を乗り越えて、つながりませんか。

まずは、全国各地の避難者がつながって情報や意見を交換できる場をつくっていきます。

避難を続ける困難に苦しんでいる人も、帰還すべきか迷い悩む人も、帰還後、壁にぶつかっている人も、定住地を見つけて新しい暮らしを立ち上げつつある人も、

ひとりひとりの経験と想いと知恵をよせあって、3.11後の社会になぜ「避難の権利」保障が必要なのか、具体的に何が必要なかを可視化していきましょう。

2015年11月

「避難の権利」を求める全国避難者の会

「避難の権利」を求める全国避難者の会 設立記念集会 Part 2

避難当事者ワークショップ



2015年12月12日(土)

13:00-16:30 (12:30 開場)

開催地：京都市

会場：同志社大学

今出川キャンパス 良心館2階 RY203 教室

(会場アクセス詳細が裏面にあります)+

資料代：500円(未成年は無料) *託児あります。要申込。

お申込み：こくちーず又はメールにて。

<https://ssl.kokucheese.com/event/entry/346227/>

「12月12日当事者ワークショップ申込み」と件名を入れ①お名前(ふりがな)②避難元→避難先(→帰還先)③ご連絡先④託児希望の有無をお知らせください。

*同日18:00より、集会「311後の共生社会を求めて～避難の権利は生きる権利～」を開催します。(詳細裏面)

「避難の権利」を求める全国避難者の会

TEL：080-1678-5562

FAX：011-398-9769

Email：hinannokenri@gmail.com

Website：<http://hinannokenri.com>

Facebook：「避難の権利」を求める全国避難者の会

郵便：〒004-0062 北海道札幌市厚別西郵便局留

★メッセージで参加しませんか？

「設立集会には参加したいけれどできない…」という皆さん、メッセージで参加しませんか？ メールまたはFAXなどでお寄せください。当日資料の中で10月29日メッセージ集と共に掲載させていただきます。

「1212メッセージ」と件名を入れ、①お名前(ふりがな)②避難元→避難先(→帰還先)③ご連絡先④匿名希望の有無⑤メッセージ(約700文字以内のめやすで、短くても)をお送りください。(12月7日締切り)お待ちしております！

「避難の権利」を求める全国避難者の会 設立記念集会 Part 2

第2部 集会

311 後の共生社会をめざして

～「避難の権利」は生きる権利～

2015年12月12日(土) 18:00-20:30 (17:30 開場)

同志社大学今出川キャンパス良心館2階 RY203 教室

参加費：700円 避難者500円 午後のワークショップからの参加者は無料

申込み不要です。直接会場にお越しください。

福島原発事故発生から4年8か月が経ちました。

私たち原発事故避難者は全国各地に散り散りになり、今も困難を抱えた仲間たちが数多くいます。被害者救済の為に制定された原発事故・子ども被災者支援法は骨抜きにされ、2015年8月の改定では「新たに避難する状況にない」との文言が盛り込まれ、より一層「避難の権利」は切り捨てられようとしています。

しかし、原子力緊急事態宣言発令中の今、子ども達に甲状腺がん多発など、被ばくによる健康被害が懸念されている中、「避難」を含めた被ばく防護の権利がないがしろにされてはなりません。

去る10月29日参議院議員会館にて、約140名の方々、避難者はもとより全国から心を寄せてくださる皆さまとともに、『「避難の権利」を求める全国避難者の会』設立記念集会を開催しました。

私たちひとりひとりの復興と、大切な子どもたちの未来のため、また、未来の子どもたちのため、あきらめることなく、つながりあって、前に進んでまいりましょう。

○ ご寄付のお願い ○

この会の活動費は、会員の会費と、市民の方々からの寄付により賅っていきます。会の趣旨をご理解いただき、活動に賛同いただける方からのご寄付を募っています。

口座名:「避難の権利」を求める全国避難者の会

口座記号番号

00530-8-102413

